

第 31 回

昔を！今を！今歌う会

特集 懐かしの世界映画主題歌集
～ 歌うと一瞬であの名シーンへタイムスリップ～

おはなし・歌唱指導 酒井沃子 安田直弘
ピアノ 青柳志保

SHANE

Alan Ladd

Jean Arthur / Van Heflin / Brandon De Wilde / Jack Palance
Ben Johnson / Edgar Buchanan / Emile Meyer / Elisha Cook Jr.
Douglas Spencer / John Dierkes / Ellen Corby / Paul McVey
writing credits Jack Schaefer / A.B. Guthrie Jr.
directed by George Stevens

2017年 9月17日(日) 開演 14:00

会場 スタジオ・バルーン



■ 主催 今歌う会実行委員会

プログラム

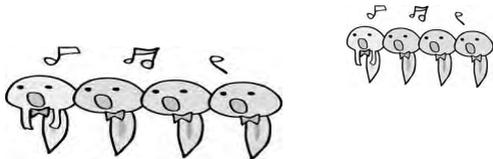
第一部 懐かしの世界映画音楽

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. Foxファンファーレ | 作曲 A.Newman |
| 2. 慕情 | 訳詞 岩谷時子 作曲 S.Fain |
| 3. 虹の彼方に / オズの魔法使 | 訳詞 山梨竜一郎 作曲 H.Arlen |
| 4. ケセラセラ / 知りすぎていた男 | 訳詞 音羽たかし 作曲 J.Livingston |
| 5. 美女と野獣 | 訳詞 湯川れい子 作曲 A.Menken |
| 6. エーデルワイス / サウンドオブ ミュージック | 訳詞 阪田寛夫
作曲 R.Rodgers |
| 7. 遙かなる山の呼び声 / シェーン | 訳詞 井田誠一 作曲 V.Young |
| 8. ロシアから愛をこめて | 作詞・曲 B.Lionel |
| 9. ジェルソミーナ / 道 | 訳詞 佐伯孝夫 作曲 N.Lota |
| 10. サンライズ・サンセット / 屋根の上のバイオリン弾き | 訳詞 若谷和子 作曲 J.Bock |
| 11. ゴッドファーザー 愛のテーマ / ゴッドファーザー
(Speak Softly Love) | 作詞 L. Kusik 作曲 N.Rotta |
| 12. 星に願いを / ピノキオ | 訳詞 島村葉二 作曲 L.Herline |
| 13. ムーンリバー / ティファニーで朝食を | 訳詞 吉田旺 作曲 H.Mantini |

~~~~~ 休憩 ~~~~~

## 第二部 リクエストコーナー

### ◇ 私の歌いたい映画音楽主題歌



♪ プログラムの進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# エピソード

## ヴァイオリン (Violin) とフィドル (Fiddle) の違いとは・・・



映画「屋根の上のバイオリン弾き」の原題は「Fiddler on the Roof」です。ヴァイオリンもフィドルも楽器というハード面では同じです。

クラシックの世界では、当然ヴァイオリンと呼ばれますが、フィドルと呼ぶのはどんな時でしょうか。

アイリッシュ・フィドル、ブルーグラス・フィドルなどが知られていますが、クラシックとノン・クラシックで、楽器の呼び名が分かっているかといえば、そうでもありません。ジャズの世界ではジャズ・バイオリンと呼ぶのが普通です。

要はヴァイオリンを（いわゆる）民俗楽器として演奏している時に、そう呼ぶことが多いようです。演奏者はフィドラー。

さて、この映画の冒頭に主人公の牛乳屋テヴィエが言います。

「この（ユダヤ人の）村では誰もが屋根の上のフィドラーのように、いかにすれば首の骨を折らずに、そつなく曲を奏でられるのかと四苦八苦している。なぜそこまでやるのか。それは、ここがふるさとだから。うまくやっていく秘訣は、戒律、すなわちしきたり。しきたりがなければ、屋根から落ちてしまうのさ」。

すなわち、フィドルを彼らのユダヤの伝統・戒律の象徴と捉えていることから、題名が「Fiddler on the Roof」となっています。フィドルでないといけません。

「屋根の上のバイオリン弾き」を逆英訳すると「Violinist on the Roof」となりあれあれ、全然違った意味あいになりませんか？。なぜ「屋根の上のフィドル弾き」にしなかったのか。（あるいは、そのまま「フィドラー・オン・ザ・ルーフ」）

題名を和訳した人が、バイオリンとフィドルの違いが分からなかったのか。あるいは日本人はどうせフィドルもユダヤ人のことも知らないだろうから敢えて、「フィドラー」を使わなかった。のでしょうか。

この映画でフィドルを演奏しているのは、この映画の舞台となったウクライナ出身の名ヴァイオリニストの、アイザックスターン（ユダヤ人）。洒落てますね。映画の最終画面では、アメリカに移住するため、荷車を引いていくテヴィエを「屋根から降りた」フィドラーが追いかけてきます、「もう、そろそろユダヤの厳しい戒律にしばられることはやめましょう」というように。

有名なフィドラージョークのいくつかを紹介します。

- ・ヴァイオリニストはビブラートで音程をごまかす
- ・フィドラーはもともとの始めから音程が狂っている
- ・楽譜通りに正しく弾かないと音楽にならないのがヴァイオリン
- ・楽譜を無視して弾いても音楽になるのがフィドル
- ・ヴァイオリニストは演奏会が終わってから酒を飲む
- ・フィドラーは演奏前、演奏中、演奏後に酒を飲む



「屋根から降りた」フィドラー

# プロフィール

酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO法人「65歳からのアートライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学院大学非常勤講師。

青柳 志保 Shiho Aoyagi ピアノ

玉川学園大学文学部芸術学科音楽専攻ピアノ科卒業。ピアニストとして声楽、器楽、合唱等のコンサートに出演する他ミュージカルやバレエ、演劇の音楽を担当し、作編曲も手がける。青山学院女子短期大学子ども学科兼任講師、目白町教会オルガニスト、社会福祉法人さくら保育園リトミック講師。

## 次回 (第32回) のご案内

2017年 12月17日 (日) 開演14:00 (開場13:30)

会場 スタジオ・バルーン

♪これまでのコンサートの歩みはオフィス・バルーンのホームページでご覧いただけます。

(<http://www.ajisainokai.com>)

☆お申し込み・リクエストはオフィス・バルーンへ

Tel 045-902-7402 Fax 045-901-9914

E-Mail. [office\\_balloon@a00.itscom.net](mailto:office_balloon@a00.itscom.net)

